

## 第5回 稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会 会議録

1. 審議会等の名称 第5回 稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会
2. 開催日時 令和3年11月11日（木）午後7時00分から午後8時00分まで
3. 開催場所 嘉麻市役所5階 会議室A
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
  - (1) 委員  
会長 山下剛  
副会長 荒川孝子  
委員 秋丸健兒、平岡真由美、塩川智津子、大力智司、富崎静江、平井由子、永富靖人  
伊東新治、北富真治  
欠席委員 奥田早苗
  - (2) 事務局  
教育総務課長 赤坂 晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 山口陽子  
学校教育課指導主事 近藤聖一
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び協議の内容

### 【議題】

- 1 校歌について
- 2 校章について
- 3 開校及び閉校に関する事業について

### 【審議の内容】

- 1 校歌について
  - 校歌について、レジュメに沿って説明を行った。（事務局）  
次のような意見が出た。（委員）
  - 作詞、作曲の著作権はどうなっているのか。  
→本人が亡くなっていれば、相続人に連絡を取って承諾をいただくという流れになる。
  - 各選出団体からの意見はどうか。
  - 青少年育成住民会議稲築支部の会議は出来なかったが、数人に聞いたところ「既存校歌の継承が良い。」との意見だった。学校名も稲築西が残るのだから校歌も残したらいいのでは。
  - 中学校PTAの数人からは、校歌を全て変えるのは嫌。第1校歌、第2校歌として残せばいいとの意見だった。

- 現在の学校が閉校し完全に無くなり、形式上は新しい学校ができるようになるが、校歌は継続と捉えることは可能なのか。
  - 正式には学校として区切りが来るため、継続ではなくて新しい学校の校歌として新しく始まる考え方になる。捉え方としては、既存校歌の継承。
- 子ども達に訊ねたところ、低学年はまだよくわからないようだったが、中・高学年は「校歌が残ったほうがいい」との意見だった。また、高校生も「残ったほうがいい」との意見だった。
- 小学校の児童会からは、「小学校、中学校の校歌どちらも校歌にする」という意見だった。小学校のグラウンドに新校舎が建設されており、小学校が閉校するイメージは無く、中学校と統合するというイメージを持っているようだった。
- 中学校の生徒会からは、「既存校歌のどちらか1つを校歌にする」「両方の校歌を第1・第2校歌という形で校歌にする」という意見だった。小学校校歌と中学校校歌に誇りを持っており、新しい校歌を作るという意見は出なかった。
- 年配の方からは、「一緒に歌える校歌を残してほしい。」との意見だった。
- 1小1中の統合で、歌詞の内容も問題なく、そのまま使うことができる点から既存校歌を残したい。
- 新しい校歌を作る場合、歌詞については公募が出来るが、曲については公募が出来ず委嘱になると思う。その時に、提案を受け入れることしか出来ないなので、気に入るものを作れるか不安を覚える。誰に委嘱するかなど大きな問題があると思う。
- 義務教育学校になるので、校歌を新しくするのも考えだと思う。
- 稲築西義務教育学校の校歌は、既存校歌を使用することとする。
- 校歌の運用面については、継続審議とする。

## 2 校章について

- 校章について、レジュメに沿って説明を行った。(事務局)
- 次のような意見が出た。(委員)
- 校章の選定方法については、継続審議とする。

## 3 開校及び閉校に関する事業について

- 開校及び閉校に関する事業について、資料に沿って説明を行った。(事務局)
- 次のような意見が出た。(委員)
- 記録誌の作成について、稲築西小学校は、過去の写真がどこにあるのか不明な状態。卒業アルバムも数年分欠けている年度がある。その為、記録誌用の写真を学校だけで揃えることは難しい。
- 顔の写った写真は勝手に使えない。全員から許可をとるのは難しいと思う。

## 9. 配布資料

- (1) レジュメ
- (2) 第5回稲築中学校区義務教育学校開校準備委員会資料